

第3回 福知山鉄道館ポッポランドのあり方検討委員会 議事概要

1 日 時 平成30年9月7日(金)午後2時30分～午後4時30分

2 場 所 市民交流プラザふくちやま 4階 会議室4-1

3 参加者

委 員	足立和義委員（福知山鉄道館ポッポランド運営委員会 館長） 足立政人委員（福知山商店街連盟 会長） 井上敬規委員（プラスソーシャルインベストメント株式会社 取締役） 榎原傑委員（元京都北都信用金庫 常務理事） 梶村誠悟委員（福知山商工会議所 専務理事） 杉岡秀紀委員（福知山公立大学 准教授） 吉見美晴委員（京都府行政書士会 常任理事） 赤井貴恵委員（市民公募） 本多洋子委員（市民公募）
事務局 (福知山市)	大西担当課長、渡邊係長、伊庭主事

4 会議概要

次 第	内 容
開会挨拶	杉岡委員長
協 議	<p>1 設置目的について</p> <p><u>決定事項</u></p> <p>○『福知山市内に、子どもからお年寄りまで幅広い層が集まる拠点をつくり、「鉄道のまち」福知山として発信するとともに、「みんなでつくる」「まち全体が鉄道のまち」をキーワードに、市内外を問わず人々が交流できる場と機会を創造する。もって、先人の努力で培ってきた「鉄道のまち」福知山の歴史を市民の誇りとして未来に継承するとともに、周辺地域とも連携しながら鉄道資源を活用した持続可能な観光地域づくりに寄与する。』を設置目的とする。</p> <p><u>主な意見</u></p> <p>○子どもでもわかるような表現を用いてはどうか。</p> <p>2 設置主体について</p> <p><u>決定事項</u></p> <p>○公設民営を中心に検討していく。</p>

	<p><u>主な意見</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○効果的かつ効率的な運営を行うという面で民営は欠かせない。 ○行政がファンドを活用して資金を調達するという事例もある。「行財政が厳しいから公設公営は無理」ということはない。 ○イニシャルコストが大きいので、公設ならざるを得ない。 ○瓦1人1枚運動のときのような機運が感じられない。民営でも自立は難しい。 <p>3 施設内容・設置場所・資金調達について</p> <p><u>決定事項</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、分科会形式での議論を行う。 <p><u>主な意見</u></p> <p>(施設内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国鉄O Bの方々によるお話の映像化による保存及び放映。 ○飲食スペースやお土産販売、ガチャポンの設置。 ○市民パスポートの販売 <p>(設置場所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○魅力があれば単体でもできるが、単独設置は困難ではないか。 ○相乗効果も考え、総合的に三段池公園の児童科学館が有力である。 ○三段池公園内の場合、鉄道との関わりの整理が必要となり、なぜこの場所なのかの整理が必要である。 <p>(資金調達)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○初期投資の負担が大きく、公設でなければ開設困難である。 ○市の予算とともに府などの補助も検討すべきであり、地元企業や市民からの寄付も集めるべきである。 ○誰がどのようにPRするのかがポイントである。 ○事業主体の責任や負担を明確にして、ファンドは償還できないリスクがあることも理解する必要がある。 ○ファンドは事業が軌道にのってから、設備投資の時期などに検討してはどうか。
その他	<p>(1) 視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日時 平成30年9月19日(水)午前10時から正午まで(予定) ○場所 加悦SL広場 <p>(2) 次回検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成30年10月5日(月)午前10時～午後0時(終了予定)

